

2007 年度

科目名	対象学科・学年 文学部文財3回生	担当者	
文化財特殊講義V（文書典籍）B		宇都宮 啓吾	
授業テーマ 院政期の聖教と教学			
授業の概要と目標 院政期の聖教と教学との関わりについて、個別に論じていきます。その中で、聖教研究や文化財研究に必要な研究方法や視点を身につけてください。			
評価方法 レポートと平常点（全講義数の2/3以上の出席が前提）で総合的に評価します。 レポートはE-mail（ utunomk@osaka-ohtani.ac.jp 件名：【文化財特殊講義レポート】）で提出すること。			
テキスト	著者	出版社	
特に指定しません。適宜、プリントを配布します。			
参考書	著者	出版社	
特に指定しません。適宜、紹介します。			
授業スケジュール・内容			
	時間	テーマ	補足
導入	1	オリエンテーション	
講義①	2	聖教における訓点資料	聖教の中に存する訓点資料を対象として、その分析方法や視点について概観する。
	3		
	4		
	5		
講義②	6	大津の聖教を巡る問題	院政期に高麗より輸入をした義天版が日本の仏教界においてどのような集団の中で伝持されたかといった問題を扱う。
	7		
	8		
	9		
講義③	10	義天版を巡る問題	院政期に高麗より輸入をした義天版が日本の仏教界においてどのような集団の中で伝持されたかといった問題を扱う。
	11		
	12		
	13		
まとめ	14		
	15	講義全体の総括	